



▲重要文化財の指定を受けた豎坑槽

重要文化財 補修・修理が必要

答弁：文化庁と協議しながら

堤 久美子議員
堤 学芸員の調査研究、資料づくりの下、豎坑槽を活かす住民の会、槽を愛する住民の熱い思いで、国の重要文化財に指定された豎坑槽の保存と活用は、生涯学習課長 修理の基



堤 久美子議員

本方針を作成し、保存管理活用計画を数年のうちで作成する段階で活用の仕方も検討していく。
堤 他の史跡等にも目を向け、貴重な出土品を豎坑槽近辺に保存し、見ることができると付加価値がつく。
支援室設置の目的は
答弁：協働事業の推進

堤 まちづくり支援室設置の目的は何か。
総務課長 総務課の所管で、啓発、仕組みづくり、協働に関する情報の収集、整理を行う。各担当が協働に関する事務事業を行っているので、連携をし町行政を進めていく。
堤 町が抱えている課題、住民のニーズを把握し、住民の知恵と行動でまちづくりができる。そのため、協働交流課等を設けて、みんなで話し合える交流の場が必要。



丸山 真智子議員

11年の町政

自分の採点は何点か 答弁：評価は住民がする

丸山 南里町長の任期は第4次総合計画とダブっている。評価がはっきりしない。
3期目の残り1年をどうするか。
町長 第4次総合計画は数値目標を掲げている

丸山 小学1年生に不適応状況の「小一プロブレム」の対策
答弁：副担任は難しい。
丸山 最終年は健康づくり、子育て支援、安心・安全のまちづくり、協働のまちづくりの4点を重点的に進めていく。
元気な町を目指したい。
小一プロブレムの対策
答弁：副担任は難しい

レム」が全国的に問題となっている。
志免町の状況と対策はどうなっているのか。
副担任制はできないか。
学校教育課長 情報は幾分あるが、学校から問題として入っていない。
教育長 副担任をつけることは町単費では難しい。
【その他の質問】
●重要文化財となった豎坑槽
●公園のいろいろな活用



▲町長の答弁のようす



▲投票のようす



助村 千代子議員

選挙立会人

選任方法オープンに

答弁：協議し前向きに進める

助村 投票管理者、投票立会人の選任の方法は。住民課長 選挙管理委員会の委員の方にお問い合わせしている。
助村 委員の方は御苦労されていると思うが、毎回従事している方の、こ

れまでの選任の仕方では住民は不信を抱いている。
青年・若人の登用を含め、広報紙、ホームページ等で公募もすべき。
住民課長 協議した上で前向きに進めたい。
犬の糞害防止の啓発を
答弁：マナー向上に努める

助村 飼い犬のふん害に住民は、大変迷惑をしている。「飼い犬等ふん害の防止に関する条例」が施行され10年になるが、条例は機能しているのか。
生活環境課長 罰則がある条例のことは、機会をとらえ啓蒙等行っている。
罰則まではいかない。
助村 ダイレクトメールやマナー講座等で愛犬家の意識の高揚を図られた。
町長 強くマナー向上に向けて取り組んでいく。

税収対策 徴収体制の充実強化

答弁：現在検討している

西川 町財政が非常に厳しい状況の中、税の徴収率を上げることは緊急の課題である。
一日でも早く徴収体制の充実を図るべきであると思うが。



西川 蓉子議員

総務課長 今回の提案及び総合計画、宇美町・須恵町・志免町の3町共同電算化等を総合的に含め、機構改革プロジェクト会議の中で現在検討を進めている段階です。
新教育長の指針は
答弁：教育環境の整備に努める

西川 すばらしい可能性を秘めた子ども達に対し、どのような能取りをされるのか。
新教育長に熱い心を伺う。
教育長 単に知識を習得する学力形成にとどまるのではなく、知、徳、体をバランスよく兼ね備えた人間として生まれ、子どもたちが将来、志免町で育つてよかったと言えるような教育を誠心誠意推進したい。



▲検討中の税務課体制